

富士スピードウェイから始める エリア放送の可能性

株式会社 東通

2011/02/04

東通のご紹介

テレビ番組技術のプロフェッショナル集団

番組制作
技術

- カメラマン
- 音声
- 映像技術 (VE)
- 映像編集
- ミキシング

最新技術の
運用
ICT

- 画面スーパー
- ヴァーチャルCG
- データ放送
- 番組連動
- 投票投稿 (集計)

放送の
新しい
分野へ

ホワイトスペースを活用して

技術面での取り組み

- ワンセグ受信端末を最大限活用するための技術実験を行います

ビジネスの可能性

- エリア放送とインターネットを活用して地域に根ざした草の根的情報発信を行い、ビジネスに繋がります



技術実験のテーマ（その1）

ワンセグ放送の高品質化

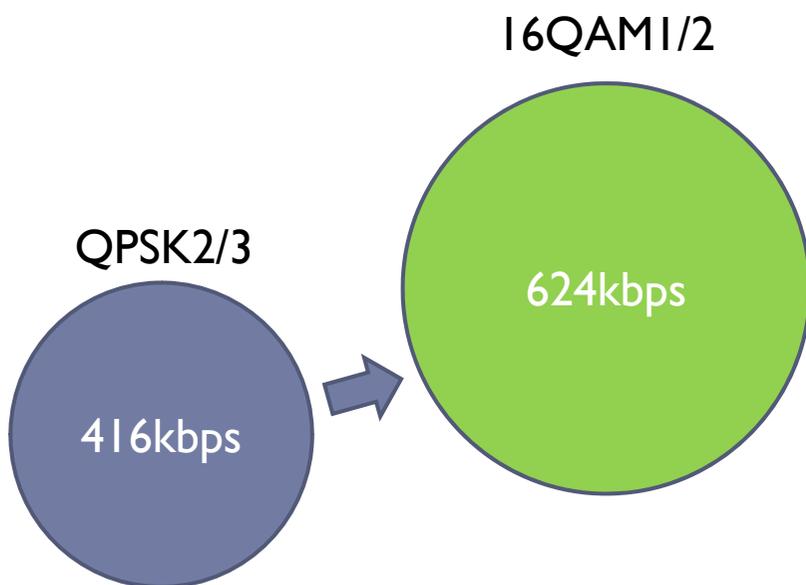
- 今の地上波ワンセグは「広くあまねく」
- 受信側を考慮してQPSKがほとんど



- ワンセグ帯域内で高ビットレートの放送を実施し、2プログラムの放送や高画質化など、ニーズに合わせた柔軟な放送を目指す



高品質・高機能化のイメージ



ビットレート増加

- 映像レートを上げ、高画質化
- 音声レートを上げ、高音質化
- データ放送の受信高速化
- 2サービス放送(マルチチャンネル)
- 将来性として、30fps、VGA化なども検討

チューニング方法

端末プリセット
全局スキャン



右長押し

例えば・・・

- HTMLからのmediatoタグによる選局
- 既存の放送局(民放、NHK)のワンセグデータ放送から、tuneWithRF機能による選局
- 数字キーによる物理チャンネル入力

技術実験のテーマ（その2）

車載/移動体向け放送の実現

- ケータイでも固定テレビでもない「車載/移動体」に特化した伝送手法の技術開発を実施
 - ※車載受信機への地域に根付いた充実した情報配信を目指す
 - ARIBの車載向け技術規格（Bプロファイル）はペンディング状態。
 - 車載の技術規格策定の一助となるような技術開発と実証実験を実施
-
- 

エリア放送を使った地域密着ビジネス

ネットを使った循環型（双方向型）放送

- ・ 人気投票
- ・ 番組選択→視聴者参加型編成
- ・ エリア限定であることを利点として活用

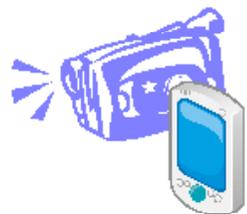
地域型デジタルサイネージの実現

- ・ ネットの専用サイトを通じて地元企業・個人商店などからCMを募集

地域情報メディアとしての可能性

放送運用イメージ

視聴者制作映像の投稿



視聴者からの投稿も
受付され編成候補に

視聴者による投票

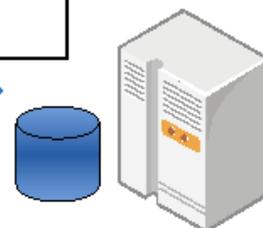


視聴者投票の結果で
自動編成

周辺の施設からCM入稿



インターネットで
CM入稿



エリア放送CM入稿・映像投稿・自動編成 統合システム 概略図

エリア放送の未来

全国のレース場
への展開

御殿場市を含む
周辺地域への展開

- ◆スーパーGTをはじめとする各種レースの開催地
- ◆広い敷地に対するノウハウは、遊園地などの行楽地にも応用

- ◆イベント開催時以外の放送
- ◆地域との連携は必須
- ◆アンテナ設置と放送エリアの設定には課題が山積
- ◆地域の情報を発信するミニコミとして発展することに期待

